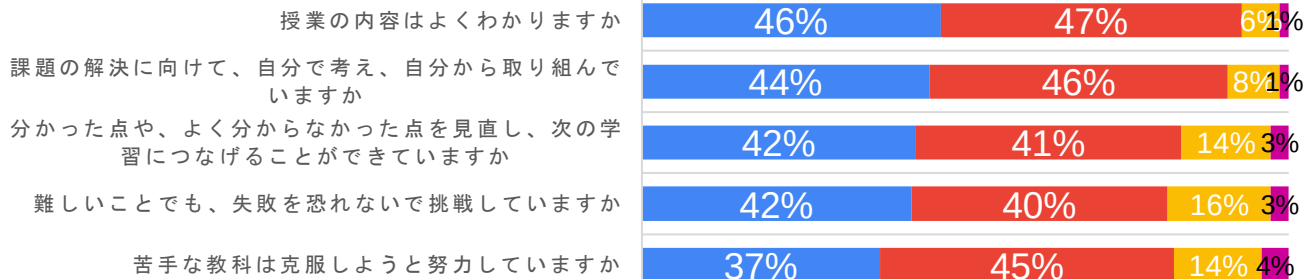


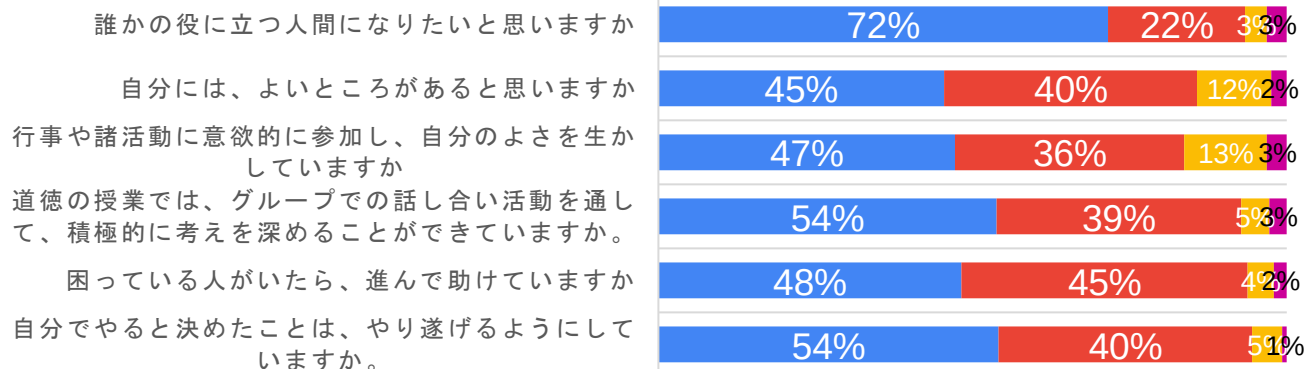
＜令和５年度 生徒アンケート結果＞

課題の解決に向けて自ら考え、協働して課題解決できる 生徒の育成

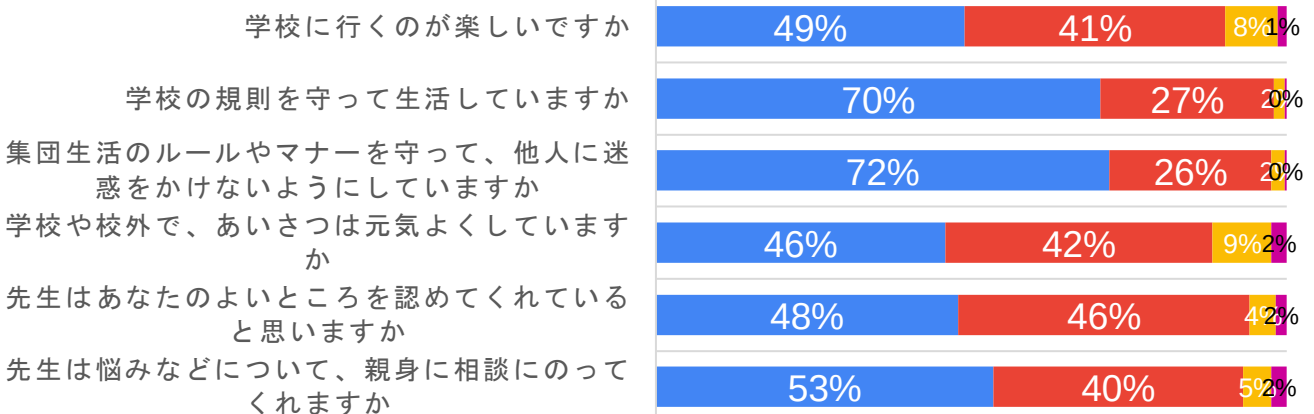
■ 肯定的 ■ どちらかという肯定的 ■ どちらかという否定的 ■ 否定的



相手の立場や背景を想像し、考えや意見を理解できる 生徒の育成



生徒が安心して登校し、満足して下校できる学校



<令和5年度 保護者アンケート結果>

課題の解決に向けて自ら考え、協働して課題を解決できる 生徒の育成

■よくあてはまる ■どちらかというあてはまる ■どちらかというあてはまらない ■まったくあてはまらない ■わからない

学校は学習内容がわかりやすく工夫された授業をしている。



学校は個に応じた指導を徹底し、生徒に基礎学力が身に付くように教えている。



学校は通知表等を通して生徒の学力を観点別評価により、適切に行っている。



相手の立場や背景を想像し、考えや意見を理解できる 生徒の育成

学校は教育活動において人権を尊重する姿勢で生徒の指導にあたっている。



生徒は地域の行事やボランティア活動に進んで参加している。



生徒は集団生活のルールなど規範意識が高く、思いやりの心が育っている。



生徒が安心して登校し、満足して下校できる学校

生徒は明るく生き生きと学校生活を送っている。



学校は学習や部活動、行事等において生徒の努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。



学校は生徒の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談にのったり指導したりしている。



学校は保護者にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応している。



学校は生徒の安全確保や安全対策に様々な配慮をしている。



地域や家庭との連携

学校は行事や学校公開などを通して生徒の様子や生活がわかるようにしている。



学校は保護者に出す文章や連絡等は、わかりやすく内容も適切である。



保護者は学校の教育活動に積極的にかかわっている。

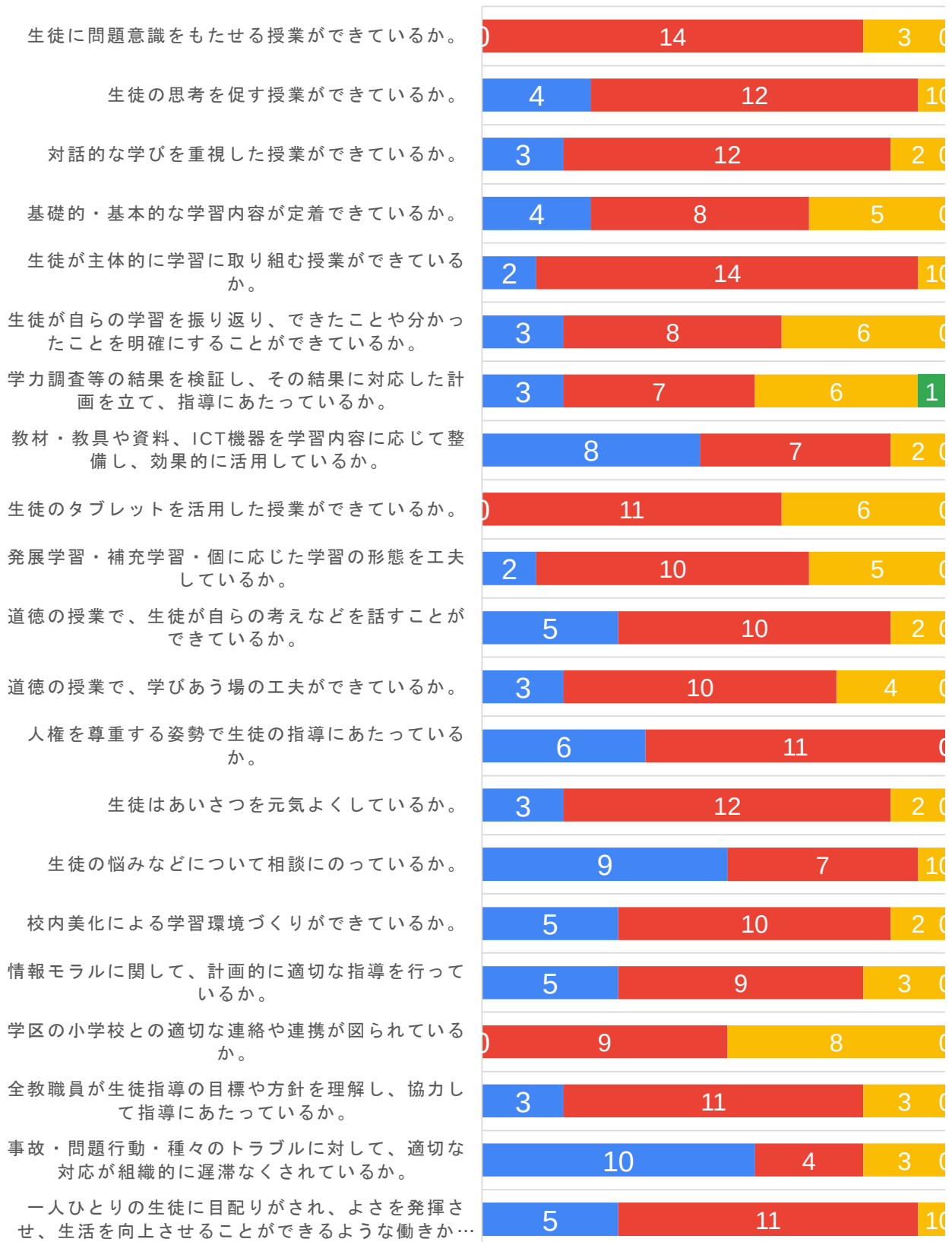


学校は家庭との連携や協力体制を十分にとっている。



令和5年度 教員アンケート結果

■よくできている ■まあまあできている ■あまりできていない ■まったくできていない



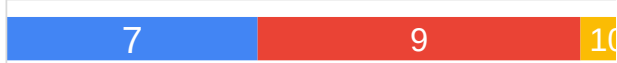
担任、養護教諭、SC、SSWなどが連携して、教育相談及び生徒の心のケアにあたる体制ができているか。



規範意識の向上に向けた指導にあたっているか。



日頃から実態把握や情報共有により、いじめの未然防止・早期発見に努めているか。



学校全体で組織的に迅速に早期対応する体制が整備され機能しているか。



部活動は、「中央区立中学校に係る運動部活動の方針」等に基づいて、組織的・計画的に運営が行われているか。



進路に関する情報の収集・分析に努め、生徒・保護者に適切な情報が提供されているか。



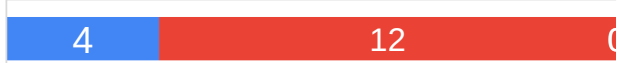
施設設備の日常の安全点検を通して、危険がないように配慮しているか。



学校安全全体計画に基づいて、組織的・計画的な安全指導が行われているか。



避難訓練の年間指導計画に基づいて、適時性のある体験的・実践的な訓練・指導が行われているか。



教職員の共通理解のもと、適正な予算編成がなされているか。



必要な予算執行が適時性をもって行われ、効果的に活用されているか。



人権尊重の配慮のもと、個人情報の保護や情報流出を防止するための適切な対応ができているか。



校内研の研修内容が適切で、計画的・組織的に行われているか。



保護者会、個人面談等を計画的に実施し、情報交換を密にして、信頼関係の醸成に努めているか。



通知表の評価内容が保護者に分かりやすく効果的に伝えられているか。



学校の教育方針が保護者・地域に理解され、必要な連携がとれているか。



PTA組織との連携が密接にとれており、必要な活動が行われているか。



重点目標①「課題の解決に向けて自ら考え、協働して課題解決できる生徒の育成」に取り組んだか。



重点目標②「相手の立場や背景を想像し、考えや意見を理解できる生徒の育成」に取り組んだか。



重点目標③「生徒が安心して登校し、満足して下校できる学校」に取り組んだか。



アンケート結果から学校としてのまとめ

＜重点項目 1＞ 課題の解決に向けて自ら考え、協働して課題解決できる生徒の育成

生徒アンケート「授業の内容はよくわかりますか」「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか」は、肯定的な回答が両方とも 90%を超えた。特に、「苦手な教科は克服しようと努力していますか」は、昨年度は肯定的な回答が 51.1%だったのに対し、今年度は 82%と大きく増加した。

保護者アンケートの「学校は学習内容がわかりやすく工夫された授業をしている」は、肯定的な回答は 74%であり、否定的な回答は 5%であった。授業によく取り組んでいる生徒の姿がみられ、保護者からも一定の評価を得ていると考える。

＜重点項目 2＞ 相手の立場や背景を想像し、考えや意見を理解できる生徒の育成

生徒アンケート「自分には、よいところがあると思いますか」は、昨年度「そう思う」28%だったのに対し、今年度は 45%と大きく増加した。また、「自分でやることを決めたことは、やり遂げるようにしていますか」の「そう思う」が、45%から 54%に増えた。アフターコロナの中での充実した教育活動により、生徒の自己肯定感が高まり、自信をもって取り組む生徒が増えてきたと考える。

保護者アンケート「学校は人権を尊重する姿勢で生徒の指導にあたっている」は、肯定的な回答 77%であり、否定的な回答は 5%であった。生徒の豊かな心の育成において、保護者からも一定の評価を得ていると考える。

＜重点項目 3＞ 生徒が安心して登校し、満足して下校できる学校

生徒アンケート「学校に行くのが楽しいですか」の肯定的回答が 90%であり、特に「そう思う」は、昨年度は 38%だったのに対し、今年度は 49%と大きく増加した。生徒が安心して満足のいく学校生活が送れているというのは、うれしく思う。

保護者アンケート「生徒は明るく生き生きと学校生活を送っている」で、肯定的な回答が昨年度 85%から今年度 92%に増加した。また、他の項目の「そう思う」の回答が、昨年度からすべての項目とも増えており、保護者からも一定の評価を得ていると考える。

＜家庭や地域との連携＞

保護者アンケートでは、すべての項目で昨年度と比べて肯定的な回答が増えた。今年度は、アフターコロナでの体育祭や文化祭など充実できた学校行事を実施することができ、多くの保護者の方々が制限なく参観することができた。また、学校行事も保護者と協力しながら進めることができた一年間であった。

今後も家庭と学校が連携し生徒を見守り支えていきたい。